

# 2019九州北部大雨

## TMAT 災害医療活動報告

令和元年 8 月 29 日 23:00

### 第 1 報 (最終)

#### 8 月 28 日

11 : 00 頃 九州北部(佐賀、福岡、長崎)に記録的大雨による、浸水被害の報道がなされる。

#### 8 月 28 日

18 : 00 頃 TMAT 事務局で情報収集活動が開始される。



#### 8 月 29 日

9 : 00 頃 佐賀県で特に被害が甚大であり県内で 100 か所以上の避難所が開設され、武雄市大町町ではいまだ冠水状態が続いている。避難所生活の長期化、医療ニーズの増大の可能性を考慮し TMAT 執行部で協議した結果、先遣隊の派遣を決定した。被災地に近い福岡徳洲会病院および長崎北徳洲会病院の TMAT メンバーを中心に選定、派遣準備を始める。

9 : 45 頃 先遣隊メンバー決定。両病院より緊急車両にて出発予定。

鈴木 裕之 医師 (福岡徳洲会病院所属)  
白井 耕志 看護師 (福岡徳洲会病院所属)  
川添 陽介 看護師 (福岡徳洲会病院所属)  
西原 健太 事務 (福岡徳洲会病院所属)  
山内 さち子 看護師 (長崎北徳洲会病院所属)  
西村 俊謙 看護師 (長崎北徳洲会病院所属)  
林田 誠 看護師 (長崎北徳洲会病院所属)

計 7 名

11 : 00 頃 両チーム自院の緊急車両にて、佐賀県武雄市、大町町を管轄している「杵藤保健福祉事務所 (武雄市)」を合流地点として出発。

12 : 30 頃

長崎北チームが福祉事務所へ到着。道中では機能していない信号や、水に流されたであろう車両が路肩へ乗り上げている光景がみられた。福岡チームは、通行止めの影響により到着が遅れる。高速道路から見る限り、佐賀市内は水も引いて地面が乾いている。福岡チーム到着までに長崎北チームが保健福祉事務所と情報共有を行う。



佐賀県武雄市内の様子

13 : 00 頃 本日 19 時より県庁にて医師会 DMAT、日赤等を交えて調整会議を行うとのことで、TMAT もこの会議に出席することを決定。それまでは避難所アセスメントを行う。大町町で冠水被害を受け孤立しているとの報道のあった「順天堂病院」については、現在 DMAT が対応しており、TMAT としての介入は現段階では必要ないとのこと。現時点でわかる範囲で避難所の場所を調べてもらうが、今朝に比べ、避難者は帰宅傾向にある模様。

13 : 30 頃

福岡チームが合流。武雄市に 8 か所、大町町に 2 か所アセスメントが必要な避難所がある。大町町には 100 名ほどの避難者がおり大規模ではあるが、保健所アセスメントシートが埋まっていた為これ以上のアセスメントは不要との判断。TMAT は武雄市内の避難所を 4 か所ずつ 2 隊に分担してアセスメントを行うことを決定。避難所に負担をかけないように丁寧な情報収集を行うよう努める。



14 : 30 頃 佐賀県県庁に「保健医療調整本部」が設置されたとの情報が入る。

16 : 30 頃 調査終了。保健所にて情報共有を行う。8 箇所の避難所を調査する予定だったが、避難所の閉鎖で 3 箇所のみの調査となった。いずれも小規模な避難所であり、支援ニーズは低い。アセスメントの結果を杵藤保健福祉事務所対策本部に報告した。

18：00 頃 長崎北チームは大町町にある避難所（大町町公民館と大町町総合福祉保健センター）2か所を訪問。いずれも100人～200人規模の避難所であったが、ライフラインは問題なく、環境的な問題もなかった。大町町総合福祉保健センター避難所では、土砂災害のリスクがある有料老人ホームの入居者が避難していたが、介護スタッフも一緒に付き添っているためケアの問題はなかった。この介護施設も、被害はないため順次施設へ戻る予定であるとのこと。医療ニーズは無く、流出した油による排水に時間がかかれば避難が長期化する住民もいる可能性があるが、周辺の医療機関との連携が取れており、処方薬も問題なく供給されているとのことであった。

20：30 頃 福岡チームは19時より佐賀県庁で行われた医療調整ミーティングに参加した。ミーティングには、行政関係者と地元医師会をはじめ、日本赤十字、DMAT、その他NPOが参加しており、各チームから本日の活動内容について報告がされた。TMATからも武雄市の避難所状況について報告。また、冠水被害があった大町町の「順天堂病院」についてDMATから報告がなされ、同病院はライフラインが生きており、患者の状態も安定していることから、籠城を維持した状態でDMATが中心となり支援を継続するとのことであった。日本赤十字の4チーム（佐賀チーム、熊本チーム、福岡チーム2）からは大町町避難所の報告がなされた（TMAT長崎北チームが把握した内容と同様）。日赤チームは、明日杵藤保健福祉事務所で再度ミーティングを行い活動方針を決定するとのことだった。

上記ミーティング結果よりTMAT事務局・執行部で今後の活動方針を検討。

- ① 支援が必要な地域は大町町のみであること
- ② 避難所の環境は安定していること
- ③ 周辺医療機関との連携が取れており医療ニーズがないこと  
等の理由から、TMATとしては本日の調査をもって撤収と判断した。

21：00 頃 長崎北チーム自施設へ帰着。

23：00 頃 福岡チーム自施設へ帰着

これをもって、今回の活動を終了いたします。ただし、引き続き週末にかけて同地域の雨が予想されるため、情報に注視してまいります。

ご協力いただきました医療機関の皆様、またご支援頂きました皆様誠にありがとうございました。今後ともTMATへのご支援ご協力の程何卒宜しくお願い致します。



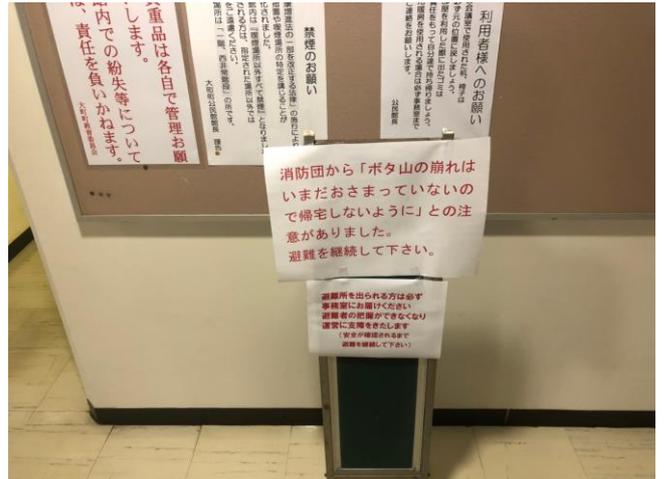
佐賀県順天堂病院の周りの様子。



水が引き清掃作業に入っている。



避難所の様子



↑佐賀県庁医療調整ミーティング



NHKよりインタビューを受ける鈴木医師

事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋